

<p>【教材・教具名】 ぼくの家は、どこ？</p>	<p>【教科・領域】 自立活動</p>
	<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳パック</li> <li>・マグネット</li> <li>・ミニカー</li> <li>・ミニカーの写真</li> </ul>
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚を使いながら、作業をする。</li> <li>・写真と具体物のマッチングができる。</li> </ul>	
<p>○使用方法</p> <p>ミニカー（ぼく）をそれぞれの写真が貼られている車庫（家）に入れる。</p> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童が興味をもっている車を教材にする。</li> <li>・ミニカーを使った遊びの感覚で取り組むことができる。</li> <li>・シャッターがしっかり閉まることで達成感がある。</li> <li>・時々写真を張り替えて位置を変えることで、視覚を使わないと作業ができない状況をつくる。</li> </ul>	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業をしようとするときに、手元に視線をおとすようになった。</li> <li>・写真と具体物のマッチングにおける「同じ」が分かり始めている。</li> <li>・ミニカーを変えることで、マッチングの観点を変えることができる。 （形に特徴がある車同士、形は似ているが色が違う車同士など）</li> </ul>	